

さがえ

市議会だより

No.124

2015年1月20日

笑う門には福来たる!!

遊びを通して知恵や発育を促す、昔ながらの「お正月遊び」。寒河江幼稚園ではたくさん子ども達が、福笑いや羽根つき、コマ回しなど、伝統的な遊びを楽しんでいました。

■発行 寒河江市議会
■編集 さがえ市議会だより編集委員会

この市議会だよりの用紙は再生紙を使用しています。

12月定例会

12月定例会は、12月1日から12日までの12日間の会期で開かれ、補正予算6件、条例改正4件、指定管理者の指定2件、その他3件の合計15案件を審議した結果、いずれも原案のとおり承認、可決しました。また、請願2件及び継続審査2件の計4件を審議した結果、2件が採択、2件が不採択となり、意見書の議会案2件を可決、1件を否決しました。可決された意見書は直ちに国の関係機関に送付しました。



議案等に対する 主な質疑等

国民健康保険特別会計補正 予算(第2号)

議員 医療費増で保険給付費が月2千万円増加している要因は何か。

答弁 ウイルス肝炎、大腸・すい臓がん等の悪性腫瘍、糖尿病、高血圧、心疾患等の病気が増加しているからです。

介護保険特別会計補正予算 (第2号)

議員 包括的支援事業関係で、相談等の仕事量が増えているが、これまで4人でやっている仕事を3人に減らして支障はないのか。

答弁 当初予算は、地域包括支援センターの保健師1名、主任ケアマネージャー2名、社会福祉士1名分ですが、主任ケアマネージャーが1名減となったため、そこに嘱託職員を配置し対応しています。来年度は仕

事量が増えるので、その辺も考慮し検討します。

議員 介護認定審査会は力的に毎月29件まで行っているが、審査が1カ月を超えることもあり、その中で結論を出せないのか。

答弁 認定申請数の増加で、審査・認定調査と主治医の意見書数も増えています。主治医の意見書が遅れるということもありますが、調査を行うは正に努めます。

みなみ保育所に係る指定管 理者の指定について

議員 ワーキングプア(年収200万円以下)が社会問題になっている中、保育士の1カ月あたりの給与はいくらなのか。

答弁 雇用形態もあり、各々の賃金は確認していませんが、提出された平成27年度収支予算書では、平均250万円以上になっています。

市民浴場に係る指定管理者 の指定について

議員 施設の有効活用策と事業提案について伺う。

答弁 市民浴場の開場を現在のサマータイムより拡大する提案を頂いています。また、独自事業として、バラやリンゴ等の香り風呂と団子木飾り等の季節感のある提案を頂いております。

予算特別委員会

一般会計補正予算 (第5号)

議員 本県に避難した家族への心のケア事業の具体的な内容について伺う。

答弁 東日本大震災で避難している被災児と保護者の交流を図る事業で、心身のリフレッシュの場を提供する、親子海水浴、スキー交流の2事業です。

議員 指定管理をしている保育所の保育士の身分や給与について把握しているのか。

答弁 毎年実績報告を受け、担当課で実態把握をしています。

一般会計補正予算 (第6号)

議員 医師会館・検査センター移転改築予定の、クア・パーク民活エリア内の分譲用地売却収入の積算根拠を伺う。

答弁 全面積は131万5901㎡です。その内の西側に新堰202㎡があり、その単価が80%の1万3,300円です。それ以外は1万6,630円で、総額は2億1,816万2千円になります。

議員 医師会館・検査センターの着工のめどはいつ頃か。

答弁 平成30年まで移転完了したい考えで、なるべく早めにしたとのことですが。

議員 土地開発公社買収時と同額で買い戻すという事か。

答弁 土地開発公社の自己資産で賄い、維持管理費もかかってなく、当初価格で市が買い戻し、同価格で成人病検査センターへ分譲になります。

12月定例会の提出議案と採決結果

議案番号	議案名等	採決結果
承認第5号	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度寒河江市一般会計補正予算（第4号）） 第47回衆議院議員総選挙に係る経費を計上するもの	全会一致で承認
議第58号	平成26年度寒河江市一般会計補正予算（第5号） 県人事委員会勧告を踏まえた給与改定及び人事異動に伴う給与等経費の調整を行うもの	多数で可決
議第59号	平成26年度寒河江市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号） 県人事委員会勧告に準じ、給与改定及び人事異動に伴う給与等経費の調整並びに流入量の増加等に係る浄化センター管理費等を追加するもの	全会一致で可決
議第60号	平成26年度寒河江市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号） 計装通信設備の修繕に伴い施設維持管理事業費を追加するもの	全会一致で可決
議第61号	平成26年度寒河江市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 県人事委員会勧告に準じ、給与改定及び人事異動に伴う給与等経費の調整並びに療養給付費の増加に伴い保険給付費等を追加するもの	全会一致で可決
議第62号	平成26年度寒河江市介護保険特別会計補正予算（第2号） 県人事委員会勧告に準じ、給与改定及び人事異動に伴う給与等経費の調整並びに制度改正に伴う介護保険システム改修に係る経費等を追加するもの	全会一致で可決
議第63号	寒河江市情報公開・個人情報保護審議会条例の一部改正について 特定個人情報保護評価を審議会の所掌事項に追加するもの	全会一致で可決
議第64号	寒河江市特別職に属する者の給与等に関する条例の一部改正について 県人事委員会勧告を踏まえ、特別職の期末手当の支給月数について、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第65号	寒河江市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について 県人事委員会勧告に準じ、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第66号	寒河江市国民健康保険条例の一部改正について 健康保険法施行令の一部改正に伴い、所要の改正をするもの	全会一致で可決
議第67号	寒河江市立みなみ保育所に係る指定管理者の指定について 指定管理者の指定を行うもの	多数で可決
議第68号	寒河江市市民浴場に係る指定管理者の指定について 指定管理者の指定を行うもの	全会一致で可決
議第69号	損害賠償の額を定めることについて 平成17年10月～平成21年4月の市報で使用したイラストレーションに係る損害賠償の額を決定するもの	全会一致で可決
議第70号	西村山地区視聴覚教育協議会の廃止について 1市4町で構成する西村山地区視聴覚教育協議会を廃止するもの	全会一致で可決
議第71号	平成26年度寒河江市一般会計補正予算（第6号） チェリークア・パーク民活エリア内分譲用地を土地開発公社から買い戻すもの	全会一致で可決
請願第6号	集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを国に求める意見書の提出に関する請願	少数で不採択
請願第7号	「農政改革」の再検討と緊急の過剰米処理を求める意見書の提出に関する請願	少数で不採択
請願第8号	農協改革に関する請願	全会一致で採択
請願第9号	米の需給安定対策に関する請願	全会一致で採択
議案第7号	集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことに関する意見書の提出について	少数で否決
議案第8号	農協改革に関する意見書の提出について	全会一致で可決
議案第9号	米の需給安定対策に関する意見書の提出について	全会一致で可決

賛否表(12月定例会) (全会一致による賛成で承認、可決及び採択以外の表決を掲載しています)

議案名	議員氏名等																	
	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
	阿部清	遠藤智与子	後藤健一郎	太田芳彦	國井輝明	沖津一博	工藤吉雄	杉沼孝司	辻登代子	荒木春吉	新宮征一	佐藤良一	内藤明	高橋勝文	川越孝男	那須稔	木村寿太郎	
議第58号 平成26年度寒河江市一般会計補正予算(第5号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第67号 寒河江市立みなみ保育所に係る指定管理者の指定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	○	○	○
請願第6号 集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことを国に求める意見書の提出に関する請願	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	▲	●	●	○	●	○	●	●
請願第7号 「農政改革」の再検討と緊急の過剰米処理を求める意見書の提出に関する請願	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	●	●	●
議案第7号 集团的自衛権の行使を容認する憲法解釈の変更を行わないことに関する意見書の提出について	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	▲	●	●	○	●	○	●	●

○は賛成 ●は反対 ▲は棄権



沖津 一博
議員

地方創生のこと

地方自治体は、自ら地域の活性化のため、農業を含め新たな施策を皆で知恵を出し合い、思い切ったことをやらなければならない。

市長は、これから何に力を入れ、どんなことを考え、寒河江市の未来をどの様にしていくのか伺いたい。

市長 これからの寒河江市のまちづくりを考えていくうえで、人口減少対策が大きな課題の一つになってくると思っております。少子化対策、産業の振興を柱とする新たな施策をしっかりと打ち出していき、総合的に地域経済の活性化を図ってまいります。

農業後継者への支援策のこと

①市の特産品として、南部地区で多く栽培されている子姫芋に力を入れるとあったが、進んでいない。個人で商標登録を行ったため、栽培農家がその名前で販売できない

との苦情が出ている。現状と今後の対応について伺いたい。

②日本の自給率や食の安全・安心、更には美しい故郷を守るため、農業後継者に対して支援を行うべきと思うが、その施策について伺いたい。

市長 ①子姫芋という名称は、里芋の品種名であることから、商標として登録できないもので、誰でも一般的に使える普通名称であると理解しております。子姫芋は本市の伝統野菜の一つであり、市の特産品として生産拡大を図っております。

②青年就農給付金や経営体育成事業、市独自の「担い手新規就農支援事業」による施設機械の整備等と農地賃借料の助成、関係団体で組織する「新規就農者育成支援協



若手農家による農産物販売・PR

議会」による相談会や指導・アドバイスを行っております。



杉沼 孝司
議員

市立病院の改革状況について

①平成21年度に市立病院改革プランを策定。平成23年度に黒字化の予定であったが、計画とは大きな乖離があるようだ。現在はこのような状況か。

②一般会計から多額の繰り出しが行われている。平成19年度からの繰出金総額と、基準外の繰り出しはいくらか。

③議会報告会等で寄せられる市民からの意見や要望は、生活に密着した道路や側溝の整備が主である。それらの要望に対しては優先順位を付けて整備しているとしているが、市立病院の経営改革を強化し、優先順位の低いとされた要望にこたえる財源として、基準外繰出金を使うべきではないか。

市長 ①改革プランの3カ年で、給食調理業務委託など経費削減に努めてまいりましたが、常勤医師の減員もあり目標には到達できませんでした。また、経営状況につ

いては平成25年度決算の当年度純損失は、一般会計繰り入れ後、約1,800万円となっております。

②平成25年までの繰出金の総額は約40億4,200万円、基準外繰出金は、約17億2,100万円となっております。

③病院経営の改善を図り、繰出し金の圧縮に努めてまいります。

手狭になっている市立保育所の移転のこと

通園道路も狭く、手狭になっている市立なか保育所は移転すべきと思うが、市長の見解を伺いたい。

市長 なか保育所は朝夕の周辺道路の混雑や新たな保育ニーズへの対応が求められている等の課題があり、移転も含め検討してまいります。



市立なか保育所



遠藤智与子
議員

TPPに反対し、安定した農業経営について

ここ数年米価の下落は止まらな
い。安倍政権は「米価は市場で決
まる」として暴落を野放しにして
いる。しかも、減反政策を4年後
には廃止する方針だ。今年も1万
5千円/10^アの減反交付金を半減
した。そこで伺いたい。

①日本の農業をつぶしかねない農
政の転換を政府に求める時と考え
るが市長の見解は。

②米価は、同量で比べると、ペッ
トボトルの水よりも安い。市内農
家の経営を守るために、米価対策
を強く求めるべきではないか。

③重大な局
面を迎えて
いるTPP
交渉問題に
ついて市長
の見解は。

市長 ①10
月16日の東
北市長会で

たわわに実る、寒河江のつや姫



「米価下落対策及び稲作対策の体
質強化等に関する決議」を採択し、
ナラシ対策等の早期支払いや過剰
米の隔離対策等について国に要望
しているところだ。

②再生産可能な収入の確保が重要
であり国に要望しております。

③これまでも「国民に対する十分
な情報提供と説明が必要であり、
その内容が農家に対して悪影響が
でないように、そして農業が持続
的発展していけるように国におい
て万全の対応が図られるべきであ
る」と申しあげており、今もその
考えに変わりはないものです。

福祉灯油の実施について

消費税の増税、物価の上昇と年
金の減額などで、高齢者や低所得
世帯は厳しい冬を迎えようとして
いる。市独自でも福祉灯油を実施
してはどうか。

市長 暖房用燃料は重い負担に
なっていると認識をしています。

福祉灯油制度は、平成19年・20
年に、価格の高騰を受けて、国策
として始まったものであり、灯油
価格の状況や国、県の動向を見な
がら、適切に対応してまいります。



後藤健一郎
議員

若い世代の人口減少対策について

県が今年10月1日に発表した本
市の推計人口は41,472人で、
今後さらに人口が減ることが予測
される。至急の対策が必要なので
以下について伺いたい。

①第三子以降に特化した、さらな
る支援拡充について。

②子育てバリアフリー施設を「赤
ちゃんの駅」として認証し、情報
マップを作成する事について。

③子ども達が地元の素晴らしさを
学び、発信する取り組みについて。

市長 ①第三子以降の保育料無料
化の対象拡大を検討しております。

②企業や店舗の協力により授乳や
おむつ替えスペースの提供などの
サービスが受けられる「子育て応
援パスポート事業」の充実を図り、
協賛店や遊び場等に関するマップ
の作成も検討してまいります。

教育委員長 ③地域の自然や歴史、
特産物等について知り、まとめ、
発表・発信する学習が、それぞれ

の学校で行われております。

慈恩寺の今後の取り組みについて

慈恩寺が国史跡に指定された。
ゴールではなく新たなスタートな
ので、以下について伺いたい。

①計画を強力に推進するための中
心組織を、いつまでにどのような
メンバーでつくるのか。

②トイレや誘導看板、売店等、誘
客する上で至急改善しなければな
らない課題の解決めどについて。

市長 ①国史跡指定を受け、基本
計画の策定や国史跡指定、DCお
もてなし事業等にご協力いただい
た皆さんの中から委員をお願いす
る方向で、現在、地元関係者の皆
さんと調整中であります。

②第二駐車場のトイレ及び全体で
14カ所予定の誘導看板は早急に整
備し、売店・

休憩所「い
つづく庵」
は地元で運
営について
検討されて
いると伺っ
ております。

DC期間中運営された 慈恩寺のいづく庵



DC期間中運営された 慈恩寺のいづく庵



内藤 明
議員

学校教育について

県は「教育山形さんさんプラン」として少人数学級編制を実施し、その後、国においても義務教育標準法の改正によって、小学1学年が35人以下学級となり基礎定数化が図られてきた。

そして具体的成果として、実施前に比べ学力の向上や不登校児童生徒の減少、欠席率の低下が見られ、子どもや保護者、教職員からも好感触を持たれている。

①少人数学級の教育効果について教育委員会の見解を伺いたい。

②財務省は、学級人数を35人に引き下げたことについて「効果がなしい」として教員数を減らそうとしている。こうした動きに対する教育委員会の見解を伺いたい。

③県は、平成28年に県内初の併設型中高一貫教育校である（仮称）県立東桜学館中・高校を東根市に設置するとして説明会を行ったが、本質的な設置目的を伺いたい。

教育委員長 ①「教育山形さんさんプラン」の導入により、「きめ

細かな学習指導が可能となり、発言や発表の機会が増え、学力が向上」「個別指導の充実が図られたり、教員と児童生徒との関係がより緊密になり、不登校、長期欠席、暴力行為等が減少」といった効果があると見られています。

②少人数教育や指導力向上の取り組みを踏まえ、きめ細かな指導体制の整備を図っていくことは重要です。国としても、これまで同様

にこれらの取り組みを推進していただきたいと考えております。③中高一貫教育を導入する目的は、中等教育の一層の多様化を促進し、生徒一人ひとりの個性をより重視した教育を目指すことにあります。県内初の併設型中高一貫校「東桜



好感触の少人数学級

学館」は、この目的のために県立の中学校と県立の高等学校を接続して新たに設置されるものです。



川越 孝男
議員

市政執行上の課題及び改善策について

①病院前の道路整備は、今年度でうるこや菓子店まで完成するとして7月に発注された。工期の半分が過ぎ冬になったのに、大型店舗の補償交渉が終わらないために本格的な工事がやれず、遅れている。年度内完成の見通しを含め見解を問う。②災害復旧工事は、災害査定を受け補正予算が決定すれば着手できるのに、「2カ月後の予算額内示後でない」と着手できない」としているのは誤りであり、改めるべきではないか。

市長 ①大型店舗からは事前に工事に影響が出ないよう対応する旨の回答をいただき、補償交渉と同時に工事を進められるものと考え、工事を発注いたしました。その後諸事情により契約に至っていない状況であり、今後工事完成に向けて最善の努力をしております。②国の内示前の着手も可能ですので、今後の災害対応については現

場の状況や緊急性なども十分考慮して迅速に取り組んでまいります。

ゴミ問題について

最終処分場への埋め立ては、燃やせないゴミと粗大ゴミを破砕後分別し、瀬戸物やガラス等の不燃物だけと説明されてきた。しかし、実態はプラスチックと可燃物も埋め立てられている。住民不在で、当初の説明どおり改めるべきではないか。

市長 一般廃棄物の処理は、西村山広域行政事務組合で共同処理を行っております。現焼却施設の稼働当初は、粗大ごみと燃やせないごみに含まれるプラスチック類は、焼却する計画でしたが、その中にアルミなどの金属類が多く混入しており、焼却による重大事故の発

生が懸念されたため、埋め立て処理を行ってまいりました。今後とも適時、情報提供に努めてまいります。



埋立てられているプラスチック類



荒木 春吉
議員

土砂災害について

今夏8月に広島市での土砂災害により、74名もの尊い人命が失われた。この惨状を受けて11月19日、改正土砂災害防止法が公布された。市内の土砂災害対象地区名、箇所数、地区説明会での対応策について伺いたい。



市内の土砂災害現場

地震、台風や集中豪雨、洪水、土砂災害、大雪などの災害の発生が懸念されますので、

市長 地区名、箇所数は、寒河江地区4カ所、柴橋地区16カ所、高松地区2カ所、醍醐地区21カ所、白岩地区35カ所、幸生地区26カ所、田代地区29カ所となっております。地区説明会は、県の説明を受けて計画してまいります。今日、

市内全地区での説明会を考えております。

「大人のひきこもり」について

池上正樹「大人のひきこもり」本当は外に出る理由を捜している人達」(講談社現代新書)に本県の取り組みが紹介されている。

「昨年春、県内民生・児童委員2,426人に対し同協議会を通じて、アンケート配布・回収する方法で、いわゆる「大人のひきこもり」の調査をした。「居る」と答えた同委員は937人で、該当者総数は1,607人だった」との内容だった。

本市内の該当者総数と、現時点で考えられる対策について伺いたい。

市長 「居る」と答えた委員数は、県で非公開のため把握できません。該当者は、ニートなど民生委員からみて心配な方を合わせて54名という結果です。職に就けないことが大きな要因の一つであることや長期化の傾向があります。県や市の相談窓口、県事業の周知を図るほか、予防についても関係機関と連携し対応してまいります。

寒河江市議会ホームページのご案内

議会ホームページでは、インターネットによる本会議及び予算・決算特別委員会のライブ中継、録画中継の配信を行っております。

また、本会議のほか、議会関係の会議予定や議会報告会の結果等、いろいろな情報がホームページで確認できます。

ぜひご利用ください。

接続方法

寒河江市議会ホームページ
(<http://www.city.sagae.yamagata.jp/docs/2011102800014/>)で右の画面につながります。



議 会 日 誌

(10月21日～1月20日)

21日	議員懇談会、会派代表者会議
20日	議会運営委員会
19日	森林・林業・林産業活性化推進議員連盟視察研修
18日	議会報告会
17日	新清・公明クラブ行政視察
16日	議会報告会
15日	議会報告会
14日	議会報告会
13日	議会報告会
12日	議会報告会
11日	議会報告会
10日	議会報告会
9日	議会報告会
8日	議会報告会
7日	議会報告会
6日	議会報告会
5日	議会報告会
4日	議会報告会
3日	議会報告会
2日	議会報告会
1日	議会報告会
12月	12月定例会
11月	市議会だより編集委員会、厚生常任委員会協議会
10月	総務文教常任委員会管内視察
9月	議会運営委員会、常任委員長会議
8月	建設経済常任委員会協議会
7月	議会運営委員会
6月	議会運営委員会
5月	議会運営委員会
4月	議会運営委員会
3月	議会運営委員会
2月	議会運営委員会
1月	議会運営委員会

議運・常任委員会の行政視察報告

議会では、議会運営委員会、常任委員会ごとにテーマを定め、先進地の行政視察を行いました。その概要について報告します。

総務文教常任委員会

神奈川県厚木市

健康文化都市大学運営事業 及びWE LOVE ZAMA! 健康体操推進事業

健康文化都市大学の目的は、健康について、身体的な分野にとどまらず、精神的・社会的な分野についても幅広く学び、そこで学んだことを生かし、地域の健康なまちづくりのリーダーとして活躍していただくというものである。

WE LOVE ZAMA! 健康体操推進事業とは、平成14年度に市制施行30周年記念事業として市民の歌「WE LOVE ZAMA!」が作成され、座間市出身の元NHK体操出演者である藤元直美氏に振付を依頼し、「WE LOVE ZAMA! 健康体操」が完成。この健康体操の普及のため、健康体操普及員を育成し、市内8カ所のコミュニティセンターにて月



1回の健康体操講座開催や出前講座を通して活動を行っている。

千葉県君津市

文化のまちづくり市税 1%事業

当該事業は市民協働のまちづくり条例の具現化を図るために開始。地域の活性化や特色のあるまちづくりに役立つ公益的な事業を自主的に行う団体等に対し、予算の範囲内で補助金を交付する事業である。

また君津市市民協働のまちづくり条例を制定し、市民一人一人が主役となって、まちづくりを自らの問題として捉え、それぞれの役割

を分担し、連携、協力していくべき基本的ルールを提示している点は、画期的である。

実に多彩な事業が展開され、6年間の事業参加人数が約2,500名となっていた。

千葉県野田市

公契約条例について

野田市では平成21年に公契約条例を可決。

これまで、地方公共団体の入札は、一般競争入札の拡大や総合評価方式の採用など改革が進められてきたが、一方で低入札価格の問題により、下請け業者や業務に従事する労働者がしわ寄せを受け、労働者の賃金低下を招く状況になってきた。

野田市では、このような状況をただ見過ごす事なく、先導的にこの問題に取り組んでいく事で、地方公共団体が締結する契約は、豊かで安心して暮らせる地域社会の実現に寄与する事に貢

献するという決意のもとに、この条例を制定している。

厚生常任委員会

滋賀県守山市

病診連携による在宅医療 の取り組みについて

当該事業は大別すると五つの取り組みからなっているが、その一つ、すこやかまちづくり行動プランは、平成21年度に実施した保険者医療・介護等総合診断事業により、明らかにした課題の解決と、介護や医療制度の安定運営の必要性から、自助・共助・公助を基本に策定。平成22年度に72%だった守山市が、住みやすいまちだと思える割合結果を平成27年度に80%にすることを目指し、市を挙げて取り組んでいる。

京都府綾部市

綾部市立病院の運営について

綾部市立病院は、平成2年8月に開設。病院の運営

形態としては、管理運営は指定管理で、綾部市が100%出資し公益財団法人綾部市医療公社が運営。また、市福祉健康部保健推進課が病院事業会計を所管して設備整備、資産管理等を担当しており、公社は病院の管理、診療業務を行っている。

臨床研修指定病院、京都府立医科大学教育指定病院となっており、研修医が働き、学生が学んでいる。職員教育や診療担当者会議、毎月多様な研修活動を展開し、短時間職員制度の採用や保育所施設の設置。また、市バスが全便、病院に乗り



綾部市立病院

入れ、ボランティアが患者支援を行っている。院長、副院長ら幹部職員が家族と共に地元に住み、長期勤務している。

大阪府箕面市
社会的雇用による障がい者の自立支援の取り組み

箕面市は、障害があっても、地域で当たり前に暮らせる、排除しない社会が、あたりまえの社会を目指し、社会的雇用助成制度を創設。市は、障がい者、障がい者団体、事業所等と協議し、「福祉」から「労働」に軸足を置いた政策を進めており、同じ金を出すなら、障がい者の手に入るお金がより多くなるような方法での賃金補填という考え方に立ち、一般就労でも福祉的就労でもない、その中間を埋めるための社会的雇用という位置づけとしている。

しかし、この制度は民間企業と同様に事業所運営をしていかなければならず、事業所は障がい者、援助者

が一体となって利益を生み出す経営努力を行わなければならない。

建設経済常任委員会

北海道富良野市
中心市街地活性化基本計画について

この基本計画は、民間によるまちづくり活動から計画が策定されている。中心市街地の諸問題を含めた富良野市衰退の危機意識が市民側に強くあつたなか、富良野協会病院移転に伴う空き地利用の論議を契機に機運が高まり、行政主導ではなく法定協議会構成員自ら基本計画を策定し提言しているところ、富良野市中心市街地活性化協議会が設立。この協議会が中心になり「新富良野市中心市街地活性化基本計画構想」をまとめ市に提出、市が検討、議論を重ね、基本計画が策定され内閣総理大臣の認定を受けた。

基本方針は「にぎわいの創出による商業の活性化の推進」と「まちなか居住の推進」。日常生活に必要な様々な機能と居住空間を徒歩圏内に集積し、お年寄りや一般市民の利便性に富んだ市街地を創出することで、まちなか居住の推進を図っている。



にぎわいを創出している「フラノマルシェ」

北海道江別市
江別の顔「へびり事業」について

当該事業は、JR野幌駅を中心とした南北市街地を一体化することで、コンパクトな市街地の形成や交通環境、居住、あるいは商業などの都市機能の充実による中心市街地の活性化を

現しようとする事業。主に4事業あるが、このうち「商業等活性化事業」は、野幌駅周辺を活性化させるため、「野幌駅周辺地区活性化計画」の実現を目指し、商店街や地域、行政などが一体となって活性化に取り組んでいる。

北海道苫小牧市
まちなか再生総合プロジェクトについて

苫小牧市は、衰退に歯止めがかからず、抜本的な解決策が見いだせない状況が続いていた。

そこで平成21年度にプロジェクトチームを立ち上げ、市民参加の機会を通じて出された意見などを踏まえ、平成23年6月に「まちなか再生総合プロジェクトPART I」を策定。平成26年5月には「PART II」を策定し、事業のスクラップ&ビルドにも取り組むとともに、まちづくりに携わる人材の育成やネットワークの強化に着手している。

議会運営委員会

茨城県栗原市議会

タブレット端末を利用した議会運営について

タブレット端末の導入は、平成26年に議場に持ち込み運用を開始している。

導入の経過は、東日本大震災後、総務省の「被災地域情報化推進事業」のなかで、災害に強い情報連携システムを構築している。

村当局によると、そのシステムを活用し、住民との橋渡しの役割も担い、議員を通じて住民に広く情報を提供できるように、タブレット端末が必要になったとしている。

現在は、議会の電子会議も進め、今後は地域コミュニケーションや地域活性化にも可能性を見出したいとする。

議会運営では、専用システムを導入し、タブレット上では、議場の発言者の進行に合わせて議案書等の資

料が推移するようになってくるほか、例規集等も検索できるようになっている。

また、メールや連絡事項の掲示、スケジュール管理等も行い、住民からの行政に関する質問等についてもその場で端末機から資料を開いて答えられるようになっており、ペーパーレス化としての費用対効果だけでなく即答性も期待できる。



タブレット端末利用の視察

東京都東村山市議会 議会運営及び手話通訳制度について

議会における手話通訳の経過は、平成22年の講演会で聴覚障がいの方から傍聴の希望があり、手話通訳としての予算化をしていな

かったため、予算を流用して応急的に社会福祉協議会に依頼したのが始まりで、平成24年度からは、議会に予算化して対応している。

委託先は社会福祉協議会で、一人1回4千円（1回は、二人一組で2時間）と規定している。

手話通訳希望者は、申込書に必要事項を記入の上、手話通訳者に依頼するため、原則1週間前まで議会事務局に提出する。

ノーマライゼーションの視点に立てば、本会議、委員会等すべてに手話通訳の配置をするのが本来の姿だが、関係者には不便をかけたことと。

傍聴席における手話通訳者の立ち位置に苦慮しており、予約席としての確保が必要で、住民の理解も必要としている。

また、行政用語を手話通訳する難しさがあると説明されたが、本議会において早急な対応が望まれる。

議会報告会を開催しました

各地区で議会報告会を行い、市民の皆様より報告に対する質疑、意見、要望が出されました。詳細はホームページに載せていますが、主なものについて掲載します。



議会報告会

立つ建物などの名前を入れて欲しい。

議員 当局の答弁を記載しているのが私たちが表現を変えられることはできませんが、カッコ書きで入れるなど、議会だよりの見せ方について検討や工夫をしたいと思っています。

参加者 軽自動車税は市税だと思うが、寒河江市だけが値上げされるのか。

議員 全国的に税率がアップします。

参加者 軽自動車税は本来市独自のものなので、他の自治体と一緒に一律値上げというのはおかしいのではないかと。また軽自動車は山形のように、公共交通機関が未発達で生活が不便な地域で普及しており、国民の

公平さを考えたら軽自動車の税率をアップする事は納得がいかない。また、生活が苦しいから車を長期間乗る

のであって、昔の車は税金が高く、最新の車は安いし、走行距離が格段に長い商業ナンバーの税金が安いことなどに疑問を感じる。もっと弱者が優遇される税にしてほしい。

議員 今回の値上げの原因は、地方税法などの一部を改正する法律の施行に伴ったものです。環境問題を考へて、古い車の税金は高く、新しい車の税金は安いという一定の理解はできますが、弱者に優遇をとというご意見は受け止めさせて頂きます。

参加者 市立病院の赤字経営をよく聞くが、議員としてどう思っているのか。

議員 市立病院は、入院病床を125から94に減らし、療養病床31開設しました。また、地域連携を推進し幅広い視野に立った改革をしています。医師不足などにより赤字経営になっております。しかし、市民の安全安心を確保するために公立病院は必要です。市の重要

事項として、全国市長会や全国議長会などを通じて国策として支援できるように要望しております。

参加者 他市の公立病院では、3〜4カ月で退院させられる。診療やりハビリなど充実した診療の出来る病院づくりをしてほしい。

議員 市立病院としては、リハビリ施設の充実だけでなく、公立病院として存在価値を高めていくことが大事です。



市立病院の新型MRI

参加者 今年度産米が12〜13%と大幅に下がって米作りだけでは生活ができないような状況だ。議員としてどう思っているか。

議員 26年度産米価格については、9月定例会が終わってから報道されました。認定農業者・大規模農家・他人の農地を借りて耕作している農家にも何とかしてほしいとの要望があり、農業委員も話を伺っていると思います。さがえ西村山農協からも、12月定例会に請願書も出ております。その時にも議会として、十分審議をしたいと思っております。

参加者 東根市の後塵を拝している感じがするのだが、さくらんぼだけに頼らない、本市の展望と活性化について伺いたい。

議員 このご質問はどの会場でもよく頂く質問で、東根市は人口や誘致企業数等で本市よりも多いのが現状です。しかし本市も「ツール・ド・さくらんぼ」や「紅秀峰の台湾展開」、「企業誘致」など積極的な事業展開を行っており、今後の本市のためにも、市当局だけではなく我々議会も一緒になり

頑張ってまいりたいと思います。

参加者 新生児誕生のお祝い品として、市の特産品である「鯉のぼり」や「ニット製品」などをプレゼントしてはどうか。

市民からの要望・意見など

行政への主な要望・意見など

○寒河江市は雪の多い地区であり、流雪溝を取り入れたり、ダンプカーによる排雪などを導入し、生活しやすいまちにしてほしい。

○慈恩寺が国史跡指定にはなったが、アクセスも含めて案内板が少ない。

○若葉町〜栄町間の県道が歩道幅も含め立派に整備され、羨ましい限りである。県道旧112号線の月越・石田地区の通学路の歩道が非常に狭く、ぜひ整備をお願いしたい。

○田代小学校が廃校になり、その有効活用をお願いしているが、温泉発掘などを含めた早急な事業計画をお願いしたい。

○柴橋地区でのデマンドタクシーは、中郷・金谷地区では該当しているが、松川・木の沢・柴橋地区も利用できる方法を考えてほしい。

議会への主な要望・意見

○議会報告会により、予算・決算等を直に議員から聞く機会ができ、このような有意義な報告会を今後も続けてほしい。しかし参加者が少なく残念です。もつと町会長や役員の方からの協力により周知をしていただき、多くの市民の方々から参加してもらいたい。

○議員定数をなぜ2名減にしたのか。定数削減により、仕事が増え、立候補する人がますますいなくなるのではないか。定数や報酬を下げるだけが、必ずしも良いわけではない。



市民の声



宮内

菅蒲 由男さん

今年も寒波と共に冬將軍がやってまいりました。

市内中心部と比べ、宮内地区は山間部であり、積雪量が多いためです。除雪では、市に一昨年から組織化された「雪の総合窓口」の開設と早期対応に、大変感謝申し上げます。

さて、先日山形市市民防災センターと県庁講堂で行われた「山形県自主防災リーダー研修会」に、初めて参加いたしました。

その中で全国でも屈指の防災組織である、天童市原町防災会の「おらがやらねで、だれがやる！」の体験発表があり、その心意気に感動させられて来ました。災害対策基本法も改正になり、本市全域にこの12月に防災無線が完備され、「自分の地域は自分たちで守らなければ」と再確認をして来たところでした。

おらがまち紹介

仲田町会長 丸屋 裕さん

寒河江市内にある、2つの高校の生徒が乗降するJR左沢線西寒河江駅のある町が、おらがまちです。

名前のとおり、昔は一面田んぼがあり、今も町内に田んぼや用水路があります。昭和38年に県立寒河江工業高校が開校され、その後、工業団地や多くの店舗等が近隣にできて、居住するには大変恵まれた所であり、

3月定例会の日程(予定)

2月26日(木)	本会議(議案上程、説明)
3月2日(月)	本会議(一般質問)
5日(木)	本会議(一般質問)
6日(金)	本会議(質疑)、予算特別委員会、各委員会・分科会
9日(月)	予算特別委員会、本会議(採決・質疑)、予算特別委員会、各委員会・分科会
10日(火)	各委員会・分科会
11日(水)	各委員会・分科会
12日(木)	各委員会・分科会
17日(火)	予算特別委員会、本会議(採決)

※いずれも9時30分から開会します。
※日程は変更になる場合があります。事務局(86-2111)にお問合せください。

議会の傍聴においでください

本会議を傍聴する際には、受付簿に住所氏名を記入の上、議場にお入りください。

議会の会議は原則公開です。

■3月定例会の請願・陳情の締め切りは2月20日(金)正午までです



仲田町子供会・育成会 花植え活動

戸数は約130戸、約350名が住んでおります。町内には多くの企業があり、企業と住民が一体となつて、地域の防犯、防災、環境美化などの活動を行っています。

少子化の昨今、町内には28名の小学生がおり、次の世代へ向けて、地域の住民と共に「安全・安心」なまちづくりに活躍してもらう人材が豊富にいることは、心強い限りです。

編集後記

明けましておめでとうございます。清々しい新春をお迎えのことと存じます。

さて今年、ひつじ年で、干支縁起話には「群れをなす羊は、家族の安泰を示し、いつまでも平和に暮らすことを意味している」とあります。

羊というと「ジンギスカン鍋」や「眠れないときに数える動物」ぐらいか思い浮かばない凡人の私には、先人が託した崇高な願いには頭が下がります。

時代が変わっても、各地で紛争が絶えず、尊い命が奪われ、罪のない子どもたちまで犠牲になっていきます。戦前回歸という文字が、いつになく多く目にする昨今、「戦争のできる国」にだけは、してはならないの思いを強くしています。寒さ厳しき折、ご自愛のほどお祈りいたします。

(内藤 記)